

刊夕 日八月十

常磐每日新聞

定価 一紙五銭 一月五拾五銭 半年二百七拾五銭 一年五百拾五銭
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞株式会社

嫁を貰ふなら

これだけ知らねば損
 森澤 允晴

(二)

只前記の空亡と剛星の有無を調べる事が絶対に必要であります。次に更に御注意を申し上げますと生年月日時の「蝕空、走雲」と云ふ星のあるものは夫の位である「乗祿高林」星を侵す星であるから、此の星のある婦人を妻とすると必ず夫の運を破り其の夫は種々の不幸に陥入り失敗破滅を生じ易いのであります。同時に女の方では、朱扉望用といふ星のある男に嫁すれば、中途で離別となるか、或いは意外の困苦を嘗むることになります。尤も男女共之の星の凶星を押へる他の星を持つ

ので、九星の様な淺薄で根柢のない方術で見ただけでは決して安心出来るものはありません。九星は日本八千萬人を九つの星に分けたやうなもので、同じ五黄でも約九百万人、八白も九百万人其の他も同様で斯様な大あらかまかな見方で折角の良縁が成立しなかつたり或は思はぬ凶運の結婚をしたりするのには人生の最大不幸であります。終りに一言素人にも直ぐ判る剛星の有無を知る秘法を公開しませう。四月五日又は十月十一日生れの婦人で姓名を割象して見て、五格中に二十、二十三、三十三、又は二十七、二十八数を持つてゐる人は大抵の場合、剛星を生年月日時の何れかに持つてゐる人でありませう。然らざる場合は「蝕空運」の有者であります。この様な婦人は自分より元よりであるが自分の両親も祖父母も又自分の子供も孫も孤獨運が付いて廻つてゐる場合が多

【朝】味噌汁・豆腐
 小付 小倉、美代
 【晝】大豆 こんぶ煮込
 【晩】松茸 どびんむし 玉子やき

ノート
 自然換氣
 や保温な
 ど家屋衛
 生上日本の茅葺屋根は一番合理的だ、次が板葺、瓦葺、よくないのは石版やトタン葺

て居る時は互に其の難を免れることになりませう、要するに結婚生活の不幸は先天的に持つて生れた星と星との對照によつて定るも

く、姓名も先天運も孤獨運の数が付いてゐるのであります。これは因縁と言へば言へませう、これを立ち切らぬ以上永久につき纏ふて子孫累代にまで凶災を及ぼします。この因縁を絶ち切るには、如何にしても良姓名に改める事以外に、他に善き強い方法手段は絶對にないと信じます。以上



櫻の顔
 小倉、美代

さがしに行くところ坊や溝の中で赤い木の實を拾つてゐたり赫土の坂を一人でのぼつたりしてゐる泥まみれの子をつれてかへつてくると幾つものやさしい眼に會ふ櫻の花束のやうなお母さん達の顔

【朝】味噌汁・豆腐
 小付 小倉、美代
 【晝】大豆 こんぶ煮込
 【晩】松茸 どびんむし 玉子やき

冬の通學服賣し

中學生用 六号 四四〇〇
 國防色 七号 四四二〇
 黒小倉服 A六号 三三〇〇ヨリ
 特A六号 三三八〇ヨリ
 別注文 國防色 五五〇〇均一
 特A黒小倉 六四二〇均一

三平電 302 店服洋やかふ

かまぼこ製造

おろし

平町一丁目
 お惣菜用 さつま揚
 吉原揚

不夜天

電話一四一番

旋風的大流行の

ボクシングボール

新スポーツ競技玩具
 澤山参りました

場所を選ばずどんな人にも出来てキケンのない面白いゲームです

普級型 金十五錢
 高級型 金三十錢

平驛前
 特約店 いづみや玩具店

見習男女工

右至急募集す
 希望者來談あれ
 常磐毎日印刷會社
 長橋町 電話六三〇

井坂醫院

平町 田町
 電話五五九番

吸入用酸素純度99%

モノサシ
 度量器
 秤ノ取緒 垂糸 修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

昭和和絹の毒素

損害賠償解決

果實十一町歩に二千圓
目出度く手打ち

錦村の昭和和絹會社工場の操作に依る稻並に果樹に對する被害については郡農會の手で調査中の處荷荷並に梨の被害甚だしく殊更灰が一面に附着するため市場市價が減殺されたため附近果樹園十一町歩の經營者六十

冷害対策の

救済協議會

石城から青沼氏出席

青沼平町長は来る十四日縣農會樓上に開催される縣下各部支會長會に列席するだ會報の内容は打續く連雨と冷害に縣下の稻作被害甚しく一般被害町村が昨年以上の減收にある實狀に鑑み之が救済運動のため凶作對策協議を示すもので當日の出席各郡支會長は激甚の凶作狀況並に對策案を携へて臨む筈でその成果如何は農民から多大の期待が掛けられてゐる

鮫川江總會

藤原川護岸起工

鮫川江筋組合臨時總會は七日午前十時から平團體事務所樓上で開催されたが小名濱町、玉川地内藤原川の延長千五百米の護岸工事を二萬五千圓の工費を來る廿日前後組合直營で着工する事になつたが同工事は來年三月卅一日までに竣功の見込みである

唱歌大會

平よりも出席

縣初等教育研究會主催の縣下小學校兒童唱歌大會は來月十七日午後一時より福師講堂で開催されるが平第一同第二兩校よりも選抜兒童參加の筈で目下入選中である尚右大會は且Kと交渉の上會場よりラジオ中繼放送の豫定であると

繭俄然低落

きのふより二圓四十錢安

既報六十九圓七十錢の驚異的の奔騰を見せ地方養蠶家を狂喜させた四倉市場の晩秋蠶繭取引は七日に至つて俄然低落の調を辿り前日より二圓四十錢安の六十七圓三十錢を最高に最低五十二圓買馴六十五圓三十錢を示し出廻は千三百七十六貫であつた

軟式庭球豫選

出場卅餘組

魁文堂主催の全日本軟式庭球本郡豫選大會は來月十三日午前八時から警中第一で舉行されるが今八日現在

秋の衛生日割

主任會できのふ決定

既報平署管内各町村の秋季衛生掃除執行日割は昨日平署會議室に開かれた衛生主任會議の結果左の如く決定した
(九日)玉川(十日)高久
(十一日)江名(十二日)平町
(十三日)宮高
(十四日)竹ノ内(十五日)平町
(十六日)飯野(十七日)豊間
(十八日)湯本(十九日)永戸
(二十日)小名濱(二十一日)箕輪(二十二日)澤渡
(二十三日)三坂(二十四日)好間(二十五日)三坂(二十六日)古河炭礦(二十七日)小田炭礦(二十八日)小川(二十九日)平窪(三十日)小野田炭礦

肥料配給講演

田中獎勳官出席

本月廿七日午前十時から夏井小學校に催される縣農會主催の肥料配給講演會には講師として縣の田中肥料獎勵官が出席する

野澤氏入院

盲腸炎を患へ

時事新報平通信部主任野澤武藏氏は盲腸炎を病み去る六日平町新川町諸橋外科の手術を受け入院したが経過良好で廿日間で退院出来る見込みである

喜多流謠曲と仕舞

お稽古をお奨め致します

平町田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話二二七番

干ヤナギ

賣り始めました

いか切込

平土橋

丸仙鮮魚店

電六六二番

神谷分場講演

神谷農事試験分場は来る十二日午前九時から特別傳習會を開き郡山本場の本橋技手が稻の收穫調制に就いて講演する

平町人事

平町 結婚 姻
北目町一三一 加藤義久氏(二五)好間村字渡戸猪狩ナツ(二四)

近日開店

喫茶の店

今成食堂
平町三丁目 警察署通り

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

鯉節 鯉鹽辛

平土橋

丸仙鮮魚店

電六六二番

不可解な足どり

目的の家を素通りして小半里

三坂區長怪死後報

既報三坂村字中山一、二の山林内で死去した同村字日向の區長白石清次(五七)の死因に就いては六日夜現場に駆け付けた平署の齋藤、柴兩司法主任及び安齊刑事部長の一行が總動員検査したが屍體には頸部に僅かな擦過傷はあるが致命的外傷がないので他殺とも認定されず一方白石は既記の如く東京營林局の朝隈氏に面會すると家を出て近所の菓子屋で二十銭分の手土産を買つて

出掛けたが朝隈氏の滞在する阿部忠男方の前を素通りして縣道を五丁餘行き更に左折して七丁餘離れた村道附近の杉林の中で倒れて居る等其の経路が不可解なので死因の確證が上らず捜査隊では本署及び検事局と打合せの結果本八日朝隈警監察官が現場に急行屍體の解剖を行ひ之れにより不可解な謎を解かんとするものゝ如くであるが未だ何れとも判明せぬ

岩崎教諭の弟は

眞赤な與太

迷惑な・岩崎氏語る

千葉縣在住の本縣出身者をリレー式に騙り歩いて六日同縣館山憲兵隊の手に捕へられた稀代の詐欺漢自稱福島縣相馬郡中村町生れ東京帝大四年生岩崎俊夫は最初平町警城高等女學校教諭岩崎敏夫氏の實弟と稱して居たが取調べの結果同人は中村町新沼生れ佐藤智(三六)で岩崎教諭とは何等關係なき事が判明した右に付き岩崎女

昨日の新聞で始めて知つて驚きました、同人は相中在學中からの不良兒で當時私の家に下宿してゐた同校教諭の訓戒を受けたため一度來た様に記憶してゐますが、自分とは一面識もなく非常に迷惑な事である。云々

トミ子危禍

自動車で重傷

湯本町字寶海二八古物商重

春長女遠藤トミ(七)は昨七日午後一時頃道路を横断せんと國道に飛出した際暴進して來た内郷村字小島の大勝自動車部連轉手和田實之(三三)の乗合自動車に刎ね飛

違反の元訓導

正式裁判を申立

けふ平區へ正式手續

肅正時下に起つた教員の選擧違反事件として注目を引いた元双葉郡上岡校訓導根本秀周(三九)同熊町村芳賀茂治外數名へ個々面接投票依頼事件は既報の如く平區より略式罰金五十圓を言渡されたが同人は右判決を不服として今八日正式裁判の申立をなした

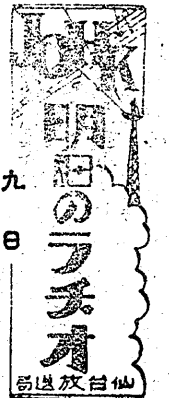
ら」としてタマ子を連れて歸つた儘行方不明となつたので抱主から平署に前借詐欺の訴ひをなした

連れ戻る

太い父訴らる

好間村大字町田坑夫東海林儀三郎長女タマ子(九)は八月初旬静岡縣濱名郡鷲津町料理店橋本ショウウ方に前借三百五十圓で酌婦となつたが去月廿五日父儀三郎が橋本方を訪れ「母が危篤だから

入遠野、田人組合、永戸、澤渡、川前の五ヶ村は昨七日午前十一時より縣農會樓上に開催された縣下凶作村對策協議の結果五ヶ年計劃の積雪地方病害驅除獎勵金交付金、十二年度指定村として指定されたが内容は病害驅除用の噴霧器購入に關する費用の二分の一以内(町村百圓以内)の交付金で農家の共同利用されるものである



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
名作物語「國性爺合戦」東京放送児童研究會
後六、二五 青年の時間
「災害と闘つた青年の體験」
後七、三〇 講演「グライダ」に就て「理學博士藤原咲平」
ばさね頭部其の他に全治二週間の打撲傷を負つた

今晩の部
後八、〇〇 俚謠(仙臺)
「追分節」山下眞潮(秋田)尺八獨奏 島山浩藏
後八、三〇 人形浄瑠璃
「攝州合邦辻」竹本鏡太夫
後九、一〇 歌謡曲 奥田英子
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告
明日の部

今晩悪明日も北東の風幾分悪くなる
前六、三〇 英語講座 片山俊
前七、〇一 朝の修養 無量壽經「三誓偈」文學博士羽溪了諦
前八、〇三 家庭講座
「生活費の問題」細木盛枝
後八、〇五 物語「船頭可愛い」鈴木利夫
後八、二〇 母の時間「秋の辨當料理」宇多繁郎
後八、四〇 小學生の時間
高二國史「幕末志士の詩歌」朗吟佐々木孝吾 解説中井精一
後九、一〇 教師の時間
「理科教育に於ける實驗

野外演習

縣下聯合の

警中平商參加

縣下中等學校聯合野外演習は既報の如く来る十八、十九兩日福島市を中心に舉行されるが平商六十餘名、警中百九十餘名は南軍編入と決定福島市南端信夫橋附近で鎌田村方面より南下する北軍と壯烈な遭遇戦を展開する筈である尙警中大井川教官は審判官に任名された

病害驅除

縣から交附金

湯本驛構内で
列車に轢る
内郷村大字御厩字久世原九八居住入山炭礦運輸課員野木房治(二九)は昨七日午後六時頃湯本驛構内を通行中北車信号所より十米の箇所を上り旅客列車に刎ね飛ばされ後頭部腰部等に瀕死の重傷を受けた

夏井信組

役員選舉

神谷聯合運動 神谷尋常高等小學校では来る十三日午前八時より同校々庭で同村青年學校、青年團聯合の秋季運動會を開催する

殖える傳染病

發生死亡共に激増

平署豫防に腐心

平署管内の傳染病は本年度に入つて二百三十七名の多數に達し昨年度より五十三名の著るしき増加を見せてゐるが發生病種は
△腸チブス七五△バラチブス一〇△デフテリア八三△猩紅熱一六△赤痢五三
で昨年との比較は腸チブス二名、バラチブス三名減、デフテリア二〇増、猩紅熱八名増、赤痢二九増で死亡者は昨年卅六名より六名超過してゐるこの恐るべき數字に平署では各町村を督勵し之れが豫防撲滅に腐心中心である

- 平署豫防に腐心
平署豫防の所報告
回入を求めめる方
△旅館女中 卅才迄 尋卒
以上 給料面談
△食堂女中 廿三才迄 尋卒
△女中 卅才迄 尋卒
△月給四一五圓 住
△漁業雜役 卅才迄 尋卒
住込月給十一三圓
△柏人夫 廿九才迄 月給十圓
△官署人夫 五〇才以下 日給七〇錢
△人絹男工 高卒 日給五〇錢
△人絹女工 尋卒 日給三〇錢
△植字工 高卒 廿五才以下 月給廿五圓
△回職を求むる方
△事務員 廿四才 甲種商卒
△外交員 廿六才 高卒
△外交員 卅一才 高卒
△硝子商店 廿二才 高卒
△雜役 廿六才 尋四修
△硝子男工 廿一才 尋卒
△同 一九才 高卒



明治太平記

(作) 寺島桂史
(監) 山内亨吉

第二百四十五回

自嘲 (四)

助太刀屋の看板をすてた大志賀も、いつのまにか、この開化の行進曲の一短音のうちに加はつてゐた。

もう、黒木綿紋付でも、一樂の着流しても、燕尾服でもなくどこで求めてきたのか浅黄縞の尻切れ半天に、つぎはぎだらけなめくろの股引、コスメチックの匂のまだ残つてゐるさうな、ザンギリ頭を、手拭でつゝんで世を忍ぶはかなさ……。

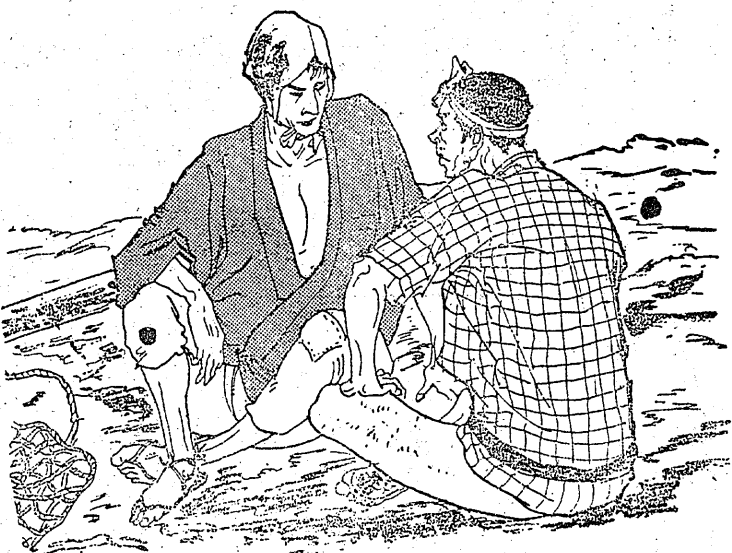
大志賀の持場は、相棒の雲助上りとの砂利運びだつた。馴れぬ肩ゆえに先棒腰がよろ／＼して、いつも雲助奴に怒鳴られつづけるそれを、じつところへて大志賀は、せつせと働いてをる。

「おい、相棒、てめえ、二本ざしたな」

雲助上りは、ひるの休みにそんなことをきいた。新規募集に應じて、品川の丁場へ入つてから三日目だ。「いや」大志賀は、首を横に振つた。「隠すなよ、てめえの身體

つきは武士上りだといつてゐる。てめへの手に竹刀ダゴがあるぢやねえか」

「……」
「ありがてい御治世になつた、おかげで、二本ざしから人夫へ落ちぶれたのか」
「……」



「いや、さういへば、このおれだつて、雲助から、同じ土いぢりだ、いまに、陸蒸気が通つてゐる、東海道筋の、われ／＼仲間ア、みんな干上つてしまふぜ」
「おぬし、陸蒸気を呪ふのか」

「なア、おい、相棒」
雲助上りは、低聲でいつた。
「何だ」
「てめへ、それほど陸蒸気を呪ふなら、なぜこんなところで働くのだ」

大志賀は、鋭い眼で、相棒をみた。

「呪ふぢやねえか、お上のいふ人民の利益といふ奴がわからねえよ」

「陸蒸気は、人民の仕事を奪ふおそろしい魔物だ」
「え？、てめへこそ、陸蒸気を呪ふぢやねえか」
「呪ふ」

「しつ！ お役人がこつちを呪んでをるぞ」
「……」

なるほど、向ふの枕木の山に片足をかけた、鐵路役人の一人が、いかめしい八字ヒゲの顔をこちらへ向け

「呪ふから、働くんぢや」
「はアて……」
「おぬしはどうだ。呪はぬか」
「好かねえな、文明開化なぞ」

「文明開化の假面をかむつた魔物だ。おぬし等の仕事を奪ふ悪魔なんだ」
「さういへば、さうだが」
「おぬしこそ、なぜ、こゝで働く？」

「なア、雇はれてきたまじだ。よせといふのかい」
「いや、働け」
「わからねえな、呪つてみたり働けといつてみたり、一體性根はどこにあるんだ」
「……」

「いまに、わかる。いまに

おぬしの手を借りるときがあらう」

「わからねえ」
この、ひそかな會話を、そつと背後にそつときいてゐた一人の役人、づか／＼と大志賀の前へやつてきて

「おい、たてい」
三尺棒で、膝のあたりを小突いた。
「……」

大志賀は、しまつたとおもつたが、何くはぬ顔で立上つた。
「歩けい！」
歩いた。相棒はじめ、周囲の人足たちは、肩を狭め聲を吞で、大志賀の引立てられてゆく後姿を見送つた

専門
産婦人科
花柳病科
◎入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

耳鼻咽喉科専門

病室完備
自炊便有
山内醫院
平町町(電話六九一番)
醫學士山内亨吉

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平町 南町 一六(電話一七〇番)

難波 陸

看護婦募集

醫

院

中野齒科醫院
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
日本齒科醫學士 西川 誠

開院

五十嵐婦産科醫院
平町新川町一二

醫學博士 五十嵐雄二
電話三七〇番
(入院應需)